

語釈：インターネット Twitter 上でみる Trump 前米大統領の英語 (43) (A Basic Way of Reading Trump-Language)

後 藤 寛

本連載の目的は実はいくつかあり、1 つは拙著〔松柏社(2016)〕で考えた内容の妥当性と適用範囲をみずから考えることである。Básic Énglish (850+ α)語彙のもつ原音と原義をよりどころに近年の最新の言語学理論との絡みを含めた検証でもある。もちろん本会での研究目標とも背景で密接につながっている。有史以前の黒海(Black Sea)北西部に位置する今日のウクライナ(Ukraine)の肥沃な地のオデッサ(Odessa)あたりにルーツをもつ Proto-Indo-European (印欧祖語) までさかのぼり、その発生源としての由来から広く一般の English 語彙と文・段落文での意味を音感からも類推する方法を一貫して考えている。英語語彙とその体系を paradigm (パラダイム) と syntagm (シntagm) の統合関係から、それぞれ縦軸と横軸で paradigmatic / syntagmatic 的に見ていることになる。



ウクライナのオデッサは穀物(grain)の世界的な生産地として多くの国に輸出されることで知られているが、有史以前からやはり肥沃な地(fertile land)であったのだろう。なお、ラテン系 Basic 語 **grain** はゲルマン系 Basic 語 **great** と同系。また、ラテン系 Basic 語 **fertile** の語頭無声子音[f]は PIE (印欧祖語) での有声の[b]音に由来し、ゲルマン系 Basic 語 **birth** と同系である〔さらに多くの例は同上拙著、第二部、例(33), (66)参照〕。

今回は Trump 氏が同一日に4回に分け書いた tweet を、ここでは1つにして提示する。この文も多角的に丸わかりとなればよいわけである。米国は中国からの輸入品に25%の関税をかけ、2国間の貿易不均衡の解消とするという内容のものであった。

Talks with China continue in a very congenial manner — there is absolutely no need to rush — as Tariffs are NOW being paid to the United States by China of 25 % on 250 Billion Dollars worth of goods & products. These massive payments go directly to the Treasury of the U.S.

The process has begun to place additional Tariffs at 25 % on the remaining 325 Billion Dollars. The U.S. only sells China approximately 100 Billion Dollars of goods and products, a very big imbalance. ...

Over the course of the past two days, the United States and China have held candid and constructive conversations on the status of the trade relationship between both countries. The relationship between President Xi and myself remains a very strong one, and conversations into the future will continue. In the meantime, the United States has imposed Tariffs on China, which may or may not be removed depending on what happens with respect to future negotiations ! (May 10, 2019)

▲（第２段落末尾の破線による中略は筆者）。まずはこの静止文を仮称・MSOE 画面上に乗せ動かせることで reading / listening での情報処理上での理解法を確認してみる。

STATEMENT					
		THEME : NP	RHEME : VP		
STR	C/C	N ₁	COP/V	N ₂ /N ₃ /A	ADV
1	φ	Talks with China	continue	φ	in a very congenial manner — (/)
2	φ	φ	φ	φ	there
3	φ	φ	is absolutely	no need	φ
4	to	φ	rush — /	φ	φ
5	as	Tariffs	are NOW being paid	φ	to the United States
6	φ	φ	φ	φ	by China
7	φ	[Tariffs] of 25% on 250 Billion Dollars worth of goods and products. //	φ	φ	φ
1	φ	These massive payments /	go directly	φ	to the Treasury of the U.S. //
1	φ	The process	has begun	φ	φ
2	to	φ	place	additional Tariffs /	at 25%
3	φ	φ	φ	φ	on the remaining 325 Billion Dollars. //
1	φ	The U.S.	only sells	China approximately 100 Billion Dollars of goods and products, /	φ
2	φ (= which)	φ	φ (= is)	a very big imbalance. ... //	φ
1	φ	φ	φ	φ	Over the course of the past two days,

2	φ	the United States and China /	have held	candid and constructive conversations	on the status of the trade relationship between both countries. //
1	φ	The relationship between President Xi and myself	remains	a very strong one, /	φ
2	and	conversations into the future	will continue. //	φ	φ
1	φ	φ	φ	φ	In the meantime,
2	φ	the United States	has imposed	Tariffs	on China, /
3	which	φ	may or may not be removed	φ	φ
4	φ	φ	depending on	what	φ
5	φ	φ (= what)	happens	φ	with respect to future negotiations ! //

(備考) 単一斜線 (／) は各文での意味的 2 分割線。

文層の深い 7 層と 5 層のものがある。空 (くう) の項となる φ への注目もポイント。
下線部の of 25% ... の of は前の Tariffs と結合し Tariffs of 25% ということになる。

内容的には 3 つの下線で示した中国製品にかかる関税に関わるところがポイントとなる。「当面、2,500 億ドル (25 兆円) に相当する物品に 25% の関税をかけた、さらに 3,250 億ドル分の物品にも追加税を考えているが、この処置は今後の交渉次第で変更はありうる」というのが大筋の内容。「交渉は順調で急ぐことはない、巨額な金が米国の国庫に直接入る、米国は中国には 1,000 億ドル (10 兆円) 程度しか輸出していなく不均衡だ、ここ 2 日間で両国との貿易関係は正されている、習近平国家主席と私の関係も強固なもので、今後の交渉次第だ」と言っている。

最初の段落での太線語 congenial (気心の合った) が仮に未知でも文脈からはプラ

スのイメージ語だと推測できる。そして同時にこれが最後の段落での太線語 **candid** (率直な) で言い換えられてもいる事実上の類義語(synonym)として出てきていると判断するのである。段落文の意味は繰り返すのであり、こういう推理は重要である〔段落文の見方、考え方に関しては拙著(2016)「松柏社」、第三部 pp.173-223 参照〕。

congenial (気心の合った) は本連載(11)で提示した同系語パノプティコン(PPE)によりどこを求めれば Basic 語 **general**、そして **candid** はやはり PPE から **canvas** が見えてこよう。**gen** /dʒen/ は「生み出すこと、生氣のあること」、**can** /kæn/ は「空 (から) のこと」で前回(42)の(3)で見た **waste, vast, etc.** と同系語(paronym)ではないが類義語(synonym)である。**congenial** は Basic 語 **engine** と同系。**candid** は un-Basic 語 **can** (缶)、**candidate** (候補者)、**candle** (ろうそく)、**camp** (キャンプ)、**campus** (キャンパス)、**campaign** (野戦・キャンペーン) などが同系で、色彩的には白っぽくあり輝く感じもある。中世ローマ時代の執政官への立候補者(**candidate**)は白衣を着て率直さ・公正さを訴え歩き回った〔同上拙著、第二部、例(49)および例(80)参照〕。

また、文末の下線部は英語としてよい言い方であるので味わっておくとよい。

ここでの最後の文 **In the meantime, the United States has imposed Tariffs on China, ... !** を、またも語のレベルで一種の心的リズム・旋律(mental prosody)としての弱音系と強音系の2分割の系列で考え、次に示してみる。

語の弱音・強音で感知する英音の心的2拍子リズム(mental prosody)

(弱音系)	(強音系)
In the	meantime
the	United States
has	imposed Tariffs
on	China, which may
or	may not
be	removed depending
on	what happens
with	respect
to	future negotiations !

やはり強音系の語のみの縦読みでもほぼ意味は理解できる。英語の **sound** は弱音系の語 (ほぼすべて Basic 語) と強音系の語の織り成す **rhythm** で流れるなかで谷間が形成されるが、その **rhythm** の谷間に入った **sound** が日本人の民族聴覚脳では処理が困難になる。いわゆる声の抑揚の **intonation** は英語の **hearing** 上でほとんど問題とはならない。

文中 **absolutely, directly, approximately** の語尾音 [tli] の響きには要注視。[t] で舌が動く (flip する) と本物調に響かない。[t] で舌がはじかれず一瞬の真空状態のようにもなる。筆者は **non-native** ではない生粋の **native** が生の音環境で発するテンポと呼吸法の本物英音がどのように日本人の民族耳に響き聞こえるかという受動的で、言語学というより物理学的な音響音声学(acoustic phonetics)の視点から響き方に特別に注目しているが、英音は喉・舌の使い方、吸息(inhaling)・呼息(exhaling)の呼吸法(manner of breathing)、息の流れ(breath flow)で響き方に違いがでる。アメリカ大使館の通訳官で二世であった **Sen Nishiyama** (西山千) 氏の逐次通訳の音源が手元にあるが、まさに本物の響きと音色である。

